

2022 | 秋 |

あんず

K y o r i n M a g a z i n e A n z u

vol. 8



4月 令和4年4月 入学式を挙行

4月10日、松田進勇記念アリーナで、感染対策のため午前午後に分かれて入学式を実施。学部・大学院あわせて1,514名が入学しました



入学生宣誓



今年4月に就任した松田剛明学園長・理事長からの式辞



井の頭キャンパスは新入生向けの部活・サークル紹介で賑わいました



各学部で2021年度成績優秀学生などを表彰。5月は総合政策学部で授賞式が行われました



今年竣工した医学部講義棟Aでの授業が始まりました

あんず

2022 秋 | vol.8 |

Contents



昨年より早く実った三鷹キャンパスの杏

- 02 …… キャンパスカレンダー
- 04 …… 令和3年度事業報告
- 05 …… 令和3年度決算報告、人事情報
- 06 …… 学事情報、訃報
2023年度リハビリテーション学科開設
- 07 …… データサイエンス教育研究センター設置、総合政策学部で「CBL(地域留学)」実施、屋内野球練習場が完成
- 08 …… 学生表彰、オープンキャンパス対面で開催
- 09 …… 海外留学の再開
- 10 …… 中央病棟手術室を増築、遺伝子診療センターが本格的に稼働
- 11 …… 当院を基地病院に東京都ドクターヘリ運航開始、ウイルス療法の臨床試験を実施中、ケーブルTVで「学びの杜」を放送、寄付報告



対面でのオープンキャンパスがスタートしました



留学生交流会に学生・教職員65名が参加。留学中の学生と現地中継や外国人留学生との交流などが行われました



CBL(地域留学)で総合政策学部・外国語学部の学生が佐賀県などで課題解決提案等に取り組みました



新たなスタートを切った男子バスケットボール部が、新人戦で健闘しました



硬式野球部では、来年度の有望な選手獲得を目的とした練習会や説明会を実施しました

令和4年9月 卒業式を挙行

9月14日、三鷹キャンパス大学院講堂で式を実施。学部・大学院あわせて33名が卒業しました



令和3年度 事業報告

I. 学校法人の概要 (抜粋)

区 分		令和3年度		
設置する学部等		大学院：3研究科13専攻 学部等：4学部15学科		
学生数 (収容定員) (人)		令和2年度	令和3年度	令和4年度参考
		5,598 (5,582)	5,726 (5,690)	5,894 (5,743)
教職員数 (人)	本務教員 (兼務教員)	707 (306)	716 (301)	711 (312)
	本務職員 (その他職員)	2,432 (57)	2,494 (56)	2,507 (54)
	合計	3,139 (363)	3,210 (357)	3,218 (366)

II. 事業の概要《主要実施事業抜粋》

区 分	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業報告	
教育・研究活動	医学部	【医学教育分野別評価受審の過程で明らかにされた改善必要事項への対応】 受審の過程で明らかとなった改善必要事項につき計画的に改善を進めその進捗状況を定期的に報告する。この作業を通じて、教育改善委員会において改善必要事項の整理及び改善実施計画の策定を行う。	改善必要事項について計画的に改善を進め、当学部の教育環境の改善を図ることを目的として組織した「教育改善委員会」において現状の課題を整理の上、改善に向けた取組みを開始し、その概要について令和3年度年次報告書を作成し、一般社団法人日本医学教育評価機構 (JACME) に提出した。「教育改善委員会」において、引き続き改善必要事項の整理及び改善実施計画の策定を行っていく。
	保健学部	【効果的な遠隔授業の実施】 【データサイエンス分野の教育体制の構築】	COVID-19感染対策を徹底することで、とくに後期からはほとんどの授業は対面で行うことができた。多くの学生が選択する横断的分野の座学授業においては、そのメリットを生かして積極的にオンライン・オンデマンドの遠隔授業を行った。 内閣府が掲げるSociety5.0促進施策に呼応して、全学科においてデータサイエンス基礎教育の授業を開講した。全学的な授業展開の一部でもあり、文部科学省の令和4年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定申請につなげることができた。
	総合政策学部	【Withコロナの時代において質の高い授業を提供】 【データ・デザイン・プログラム等の新設を含む新カリキュラム導入に向けた準備】	1年生対象の講義は、一部を除き対面およびハイブリッド形式で実施。その他の科目については、春学期は履修者数50人未満、秋学期は履修者70人未満について対面形式。それ以外はオンデマンド形式で提供した。クラスターを発生させることなく、対面形式での講義を提供することができた。 文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に申請すべく、データサイエンスに関する講義を提供した。
	外国語学部	【ポストコロナ教育の質向上に向けた取り組み】 成果の測定とカリキュラム・マネジメントの確立	新型コロナウイルス感染症の動向を考慮しながら大半の授業を対面で実施することができ、多くの学生が学びを深めることができた。また、新たに策定したアセスメントポリシーを用いて令和2年度の卒業生を対象とした成果測定を実施した。その結果を基に、令和3年度より開始した新カリキュラムを含め、今後継続的に教育の質向上に向けて取り組む。
就職状況	【ポストコロナ時代に向けた就職支援の見直し強化】 ・「より早く」学生の意識とスキルの向上 ・「より深く」教員や企業との連携 ・「よりきめ細かく」学生への支援と指導	企業研究セミナーがコロナ禍により中止を余儀なくされた。オンライン主体でスタートを前倒しし、本格的な就職活動シーズンが始まる前の12月から2月にかけて実施した。 (就職率) 保健学部 98.4% (前年度 96.3%) 外国語学部 99.5% (前年度 99.4%) 総合政策学部 96.2% (前年度 96.8%) 3学部合計 98.3% (前年度 97.0%)	
学生支援	【学生支援業務の整備と効率的な運用】 ・学生相談室業務の人的拡充 ・修学継続支援窓口の設置	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり学生からの相談件数は大幅な増加傾向が続いた。体制を強化するため、学生相談室の専任者を増員し、週5日による平日の相談体制の確立を実現した。 ・学修意欲の低下を動機とした退学者数が増加傾向にあることから、退学に特化した相談窓口として「就学継続相談窓口」を令和3年度の期初に合わせて学生支援センターに設置し、退学や進路変更などにおいて支援が必要な学生の一元的な把握と相談内容により関係各部署との連携強化を推進する体制を強化した。	
付属病院	【健全な病院経営と特定機能病院としての地域医療への貢献の促進】 ① 健全な病院経営と特定機能病院としての地域医療への貢献の促進 ② 院内感染防止対策の強化と医療安全の推進 ③ 職員の勤務環境の改善と人材育成の推進 ④ 地域医療機関との連携強化 【令和3年度患者動向】 ○外来患者数 年度累計601,785名 (前年度548,362名) 前年度比109.7% : 53,423名増 ○入院患者数 年度累計 296,309名 (前年度282,494名) 前年度比104.9% : 13,815名増	①・データを活用した病院経営の改善 ・産科病棟の改築による周産期医療の充実 ・手術室の効率的運用と増築による手術件数の増加 ・がんゲノム医療やがん遺伝子治療の促進による高度な癌診療の実現 ・高難度新規医療技術の導入促進の継続 ②・新型コロナウイルス感染症の院内感染防止の徹底 ・全職員に対する院内感染防止と医療安全教育の促進 ・職員教育における病院ホームページの有効活用の促進 ③・医師働き方改革に関する短短推進計画の作成 ・夜勤看護師の安定的確保の推進と看護師の時間外勤務時間の短縮 ・特定行為研修看護師教育課程の開始と専門・認定看護師の活用促進 ・総合研修センターによる職員教育の統一化の促進 ・医師事務作業補助者の増員と業務拡大による医師業務負担の軽減 ・リモート会議を活用した院内諸会議の効率化の促進 ④・リモートネットワークを活用した地域医療機関との連携強化 ・地域医療機関とのICT導入に向けた環境整備の促進 ・東京都のドクターヘリ運用開始とその活用の促進 ・患者予約システムの改善による初診患者数の増加	

事業計画の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

令和3年度 決算報告

■ 資金収支計算書の概要

総資金収入は664.21億円、総資金支出は669.17億円の規模である。令和3年度の前年度繰越支払資金は107.64億円。また、令和3年度決算の翌年度繰越支払資金は98.58億円となり、9.06億円の資金が減少した。

収入の部		(単位：億円)		
科 目	令和3年度予算	令和3年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	113.13	113.68	△ 0.55	
手数料収入	4.89	4.49	0.40	
寄付金収入	5.39	3.90	1.49	
補助金収入	33.37	39.49	△ 6.12	
資産売却収入	0.00	0.00	0.00	
付随事業・収益事業収入	5.59	5.49	0.10	
医療収入	364.40	391.69	△ 27.29	
受取利息・配当金収入	0.12	0.13	△ 0.01	
雑収入	3.97	3.93	0.04	
借入金等収入	0.00	0.00	0.00	
前受金収入	18.10	19.04	△ 0.94	
その他の収入	71.71	82.33	△ 10.62	
小 計	620.73	664.21	△ 43.48	
資金収入調整勘定	△ 80.39	△ 89.26	8.87	
前年度繰越支払資金	104.37	107.64	△ 3.27	
収入の部合計	644.71	682.59	△ 37.88	

支出の部		(単位：億円)		
科 目	令和3年度予算	令和3年度決算	差 異	
人件費支出	228.11	230.80	△ 2.69	
教育研究経費支出	29.35	29.89	△ 0.54	
医療経費支出	187.30	205.25	△ 17.95	
管理経費支出	27.56	27.72	△ 0.16	
借入金等利息支出	1.62	1.62	0.00	
借入金等返済支出	9.94	9.94	0.00	
施設関係支出	66.82	70.47	△ 3.65	
設備関係支出	24.39	16.75	7.64	
資産運用支出	12.93	12.68	0.25	
その他の支出	57.01	64.01	△ 7.00	
小 計	645.09	669.17	△ 24.08	
資金支出調整勘定	△ 92.12	△ 85.15	△ 6.97	
翌年度繰越支払資金	91.74	98.58	△ 6.84	
支出の部合計	644.71	682.59	△ 37.88	

※百万円未満を切り捨てており、合計額においては差異を生じる場合がある。

		(単位：億円)		
減価償却額合計 (教育活動収支に含む)	49.42	49.52	△ 0.10	
内 教育研究経費	15.45	15.40	0.05	
内 医療経費	28.74	29.08	△ 0.34	
内 管理経費	5.23	5.04	0.19	

■ 事業活動収支計算書の概要

事業活動収入計は563.27億円、事業活動支出計は549.06億円である。その結果、基本金組入前当年度収支差額は14.21億円の収入超過となった。基本金を組み入れた後の当年度収支差額は△49.07億円。令和3年度の前年度繰越収支差額は△877.57億円。翌年度繰越収支差額は△926.66億円となった。

		(単位：億円)			
科 目	令和3年度予算	令和3年度決算	差 異		
教育活動収支	事業収入の部	学生生徒等納付金	113.13	113.68	△ 0.55
		手数料	4.89	4.49	0.40
		寄付金	4.48	3.43	1.05
		経常費等補助金	32.07	38.75	△ 6.68
		付随事業収入	5.59	5.49	0.10
		医療収入	364.40	391.69	△ 27.29
		雑収入	3.87	3.79	0.08
		ア) 教育活動収入計	528.47	561.35	△ 32.88
		人件費	231.86	233.79	△ 1.93
		教育研究経費	44.81	45.56	△ 0.75
医療経費	216.05	234.19	△ 18.14		
管理経費	32.80	32.40	0.40		
徴収不能額等	0.01	0.04	△ 0.03		
イ) 教育活動支出計	525.54	545.99	△ 20.45		
A) 教育活動収支差額	2.92	15.35	△ 12.43		
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	0.12	0.13	△ 0.01
		その他の教育活動外収入	0.00	0.00	0.00
		ウ) 教育活動外収入計	0.12	0.13	△ 0.01
		事業支出の部	借入金等利息	1.62	1.62
その他の教育活動外支出	0.00	0.00	0.00		
エ) 教育活動外支出計	1.62	1.62	0.00		
B) 教育活動外収支差額	△ 1.49	△ 1.48	△ 0.01		
経常収支差額 (A+B)	1.42	13.86	△ 12.44		
特別収支	事業収入の部	資産売却差額	0.00	0.00	0.00
		その他の特別収入	2.80	1.78	1.02
		オ) 特別収入計	2.80	1.78	1.02
		事業支出の部	資産処分差額	1.25	1.06
その他の特別支出	0.00	0.37	△ 0.37		
カ) 特別支出計	1.25	1.43	△ 0.18		
C) 特別収支差額	1.55	0.34	1.21		
基本金組入前当年度収支差額 (A+B+C)	2.97	14.21			
基本金組入額	△ 48.63	△ 63.29			
当年度収支差額	△ 45.65	△ 49.07			
前年度繰越収支差額	△ 883.55	△ 877.57			
翌年度繰越収支差額	△ 929.21	△ 926.66			
事業活動収入計 (ア+ウ+オ)	531.40	563.27			
事業活動支出計 (イ+エ+カ+予備費)	528.42	549.06			
事業活動収支差額 (A+B+C)	2.97	14.21			

※百万円未満を切り捨てており、合計額においては差異を生じる場合がある。

予算・決算の詳細は、大学ホームページ「経営・財務情報」に掲載しています。

人事情報

■ 2022年10月 就任

医学部 腫瘍内科学教室 教授 廣中 秀一	データサイエンス教育研究センター センター長 坪下 幸寛	キャリアサポートセンター センター長 真野 靖久
-------------------------	---------------------------------	-----------------------------

学事情報

令和4年4月入学者数

学部	学部	学生数
学部	医学部	117
	保健学部	779
	総合政策学部	268 ※
	外国語学部	294 ※
学部合計		1,458
大学院	研究科	計
	医学研究科	5
	保健学研究科	33
	国際協力研究科	18
大学院合計		56
総計		1,514

※編・転入生含む

令和4年9月卒業・学位授与者数

学部	学部	学生数
学部	総合政策学部	11
	外国語学部	8
学部合計		19
大学院	研究科	計
	医学研究科	6
	保健学研究科	2
大学院合計		14
総計		33

令和4年9月入学者数

学部	研究科	学生数
大学院	医学研究科	3
	保健学研究科	3
	国際協力研究科	4
合計		10

【ご逝去】長澤 俊彦 名誉学長



長澤俊彦名誉学長が、2022年10月6日に逝去されました(享年90歳)。1970年に本学に教授として着任した後、1992年から1998年まで医学部長、1998年から2010年までは学長を務めました。また、厚生省の難病研究班班長、環境庁カドミウム汚染地域住民健康影響調査会委員長、東京都腎不全対策協議会会長等を務めるなど国や地域の疾病対策にも尽されました。このような長年にわたる診療・研究・教育への貢献に対して、2010年には瑞宝重光章を受章しています。長澤名誉学長のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

リハビリテーション学科 保健学部にて2023年度開設

保健学部は、これまで理学療法士と作業療法士をめざす学生を多数養成してきました。これに加え、2023年4月から言語聴覚士の養成が開始されます。再編された新しい学科はリハビリテーション学科として、理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚療法学専攻の3専攻で構成されます。

■ 言語聴覚療法学専攻を新設

超高齢社会の日本では、加齢に伴う嚥下障害や脳卒中で起こる高次脳機能障害等による話す・食べるなどの機能低下を回復させるため、リハビリテーションの必要性がこれまで以上に高まっています。社会のニーズに応えるため、本学では言語聴覚士の養成をめざしていきます。

■ 1学科3専攻編成でチーム医療を拡充

医療機関でリハビリを行う上で、生活に必要な動作や心の回復を支援する作業療法士、運動機能回復を支援する理学療法士、話す・食べるなどの機能回復を支援する言語聴覚士の連携は欠かせません。そのため、リハビリテーション学科に再編することで、3専攻の学生が互いの領域への理解を深めやすい環境となり、チーム医療に対応できる人材の養成を円滑に行うことができます。

～2023年3月 (定員人数)

理学療法学専攻(56名)
作業療法学専攻(54名)

2023年4月～

リハビリテーション学科

- 理学療法学専攻(65名)
- 作業療法学専攻(50名)
- 言語聴覚療法学専攻(25名)

データサイエンス教育研究センターを設置

データサイエンスは、社会に存在する多様かつ膨大なデータから人類にとって有益な知見を導き出すための学際的な領域であり、その基礎的要素を備えた人材の育成は大学教育において急務となります。

そこで、本学は付属病院を有する総合大学として、医療系をはじめ文系理系を問わず、学部横断的にデータサイエンスを活用できる人材を育成すること、およびデータサイエンス関連分野の研究を推進することを目的として、今年10月にデータサイエンス教育研究センターを設置しました。

総合政策学部で「CBL(地域留学)」を実施

総合政策学部では、地域での活動を通じて課題を理解し、解決策を導く力を修得することを目指して、CBL(コミュニティ・ベースド・ラーニング)というプログラムを実施しています。学生達は、前期の授業で各地域の課題を学び、地域に留学する上での課題発見や解決へのアプローチなどを身につけました。その後、夏季休暇の時期に2週間から4週間地域に滞在し、現地の人達と交流しながら課題発見に努め、解決策の提案などを行いました。

このプログラムには外国語学部生も参加することができ、今年度は2学部あわせて28名(総合政策学部19名、外国語学部9名)の学生が各地域で活動しました。

【2022年度 地域留学実施先一覧】

	地域	受入れ先コーディネーター	課題	期間	参加学生数
1	新潟県南魚沼市	公益社団法人つばめいと塩沢信用組合	70周年を迎える塩沢信用組合の課題解決CM制作	4週間	3
2	新潟県三条市	三条未来づくり舎日吉舎 三条市地域おこし協力隊	モノづくりを知り、伝える	4週間	3
3	宮城県石巻市	石巻市役所復興企画部 一般社団法人フィッシャーマンジャパン	三陸(石巻)における水産業の復興	4週間	2
4	宮城県東松島市	東松島市役所復興政策部	東松島における地域資源の情報発信	2週間	5
5	長野県塩尻市	塩尻商工会議所 NPO法人MEGURU	塩尻市の観光課題の発見と解決	4週間	3
6	愛知県豊橋市	一般社団法人二川リンケージ	二川宿における空き家問題の解決	4週間	4
7	佐賀県上峰町	合同会社つばきまちづくりプロジェクト 上峰町	ふるさと納税上位自治体によるイオン撤退後のまちの再開発	2週間	8



宮城県東松島市で牡蠣の水揚げを体験



愛知県豊橋市の前掛け製造工場にてヒアリング



佐賀県上峰町で地域の人達と清掃活動

八王子キャンパス 屋内野球練習場が完成

硬式野球部は今春から保健学部健康福祉学科への入学生が加わり、新しい体制と新しい練習環境で活動が再始動しています。8月30日には、八王子キャンパスの屋内野球練習場が完成し、竣工式が行われました。

今年2月に着工した練習場は、保健学部の校舎(H棟)があった空き地に建てられ、延べ床面積およそ1,500㎡、鉄骨造の地上1階建てです。床は全面人工芝が敷き詰められ、ブルペンのマウンドのみ土になっている他、野球部の意向を取り入れ、内野の明るさやマウンドの傾斜を、出場を目指している神宮球場と一致させています。練習環境が整備され、部員達の士気もますます高まっています。



学生表彰

■2021年度成績優秀学生

各学部学科(専攻)・各学年から、当該年度の成績優秀者を表彰しています。

2021年度は4学部で52名が対象となりました。

医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
5名	30名	8名	9名

■2021年度特別表彰学生

難関資格・検定や課外・社会活動等できわめて優秀な実績をあげた学生を表彰しています。

2021年度は4学部で10名が対象となりました。

医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
4名	2名	2名	2名

■2021年度学部賞

各学部が認めた優秀な実績・功労を残した学生を表彰しています。

2021年度は4学部で69名が対象となりました。

医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
4名	14名	13名	38名

※この他にも、各学部では様々な形で学生の表彰を行っています。

オープンキャンパス 3年ぶりに全学部対面で開催

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年度からオンラインを中心に開催されていたオープンキャンパスは、今年3年ぶりに全4学部で対面開催されました。各学部では学部・学科紹介や入試説明の他、個別相談や模擬講義、実習体験などが行われました。また、学生広報スタッフによるキャンパスツアーやキャンパスライフの紹介なども実施されました。

オープンキャンパスは5月から8月にかけて全学部であわせて11回開催され、高校生や保護者などおよそ5,500名が来場し、三鷹・井の頭両キャンパスは賑わいを見せました。



医学部：新舎での展示



保健学部：救急救命学科での実習デモ



総合政策学部：個別相談



外国語学部：学部長挨拶・学科説明



学生広報スタッフ「MITAI×INOKASHIRA」による個別相談、キャンパスツアー



海外留学の再開

新型コロナウイルス感染症の流行により2020年度からオンラインで実施されてきた海外研修・留学は、今春から徐々に再開されています。2022年、既に留学が終了した学生と渡航中の学生は、合わせて75名に達しています。また、受入れ地域や大学の状況により引き続きオンラインで留学を継続しているところもあります。

本学では、危機管理オリエンテーションの実施や海外サポートデスクサービスの利用等、安全に海外生活を送るための体制を整え、今後も状況を見ながら学生の留学支援を行っていきます。

【海外留学 実施状況】

地域・学校名	期間	学部	人数
イギリス チェスターカレッジ	2022年4月～7・8月	外国語学部	6
	2022年9月～2023年2月	外国語学部	3
イギリス オックスフォードプログラム	2022年9月～12月	総合政策学部	1
アメリカ カリフォルニア大学アーバイン校	2022年9月～2023年3月	外国語学部	7
		総合政策学部	4
アメリカ オレゴン州立大学	2022年9月～2023年3月	総合政策学部	1
アメリカ エンポリア州立大学	2022年8月～12月	外国語学部	2
	2022年8月～2023年5月	外国語学部	3
		総合政策学部	2
カナダ トロント大学	2022年9月～2023年2月	外国語学部	1
オーストラリア ウーロンゴン大学	2022年4月～12月	外国語学部	5
オーストラリア ディーキン大学	2022年8月～2023年2月	外国語学部	7
	2022年8月～2023年6月	外国語学部	5
オーストラリア アデレード大学	2022年8月～2023年2月	外国語学部	11
		総合政策学部	6
オーストラリア ニューカッスル大学	2022年10月～2023年3月	外国語学部	1
		総合政策学部	1
ベルギー HELMoカレッジ	2022年9月～2023年1月	総合政策学部	1
中国 上海外国語大学	2022年2月～2023年1月	外国語学部	1
中国 香港中文大学	2022年8月～2023年5月	外国語学部	1
台湾 国立政治大学	※9月から現地留学 2022年2月～2023年1月	外国語学部	1
韓国 韓瑞大学校	2022年9月～2023年6月	外国語学部	1
タイ チェンマイラチャバット大学	2022年8月～12月	外国語学部	1
		総合政策学部	1
タイ メーファールアン大学	2022年8月～12月	総合政策学部	1
マレーシア ニライ大学	2022年9月～12月	外国語学部	4
合計人数			75

【オンライン海外研修/留学 実施状況】

地域・学校名	期間	学部	人数
アメリカ ポートランド州立大学	2022年8月 2週間	外国語学部	3
中国 北京語言大学	2022年8月 4週間	外国語学部	1
中国 北京第二外国語学院	2022年2月～2023年1月	外国語学部	1
中国 北京外国語大学	2022年2月～2023年1月	外国語学部	1
中国 上海外国語大学	2022年2月～7月	外国語学部	1
中国 大連外国語大学	2022年2月～2023年1月	外国語学部	1
合計人数			8



英国 チェスターカレッジでの授業



米国 エンポリア州立大学への留学

医学部附属病院

診療拡充のため中央病棟手術室を増築

■ 増築された手術室の特長

増加する手術のニーズに応えるため、2021年から進めてきた中央病棟2階の中央手術室の増築工事が完了し、7月5日から運用が開始されました。今回、高度な手術を行うハイブリッド手術室1室を含む3室を増築し、当院全体の手術室数は24になりました。これにより当院として一層円滑な手術運営を進め、診療を拡充させていきます。

室内は明るく、廊下は光が差し込むよう設計されているほか、多数の物品や機材を必要とする手術がスムーズに行えるよう、これまでよりゆとりのある空間になっています。さらに、高い清浄度を保ち、陰圧、陽圧などの圧調整が可能のため、新型コロナウイルスを含めた感染症患者の手術をより安全に行うことができるようになりました。



外観



上:光が差し込む明るい廊下 下:ハイブリッド手術室

■ 新機能を備えたハイブリッド手術室を導入

当院で2室目となる今回導入されたハイブリッド手術室は、「Stealth Station™」という術前のCT画像と術中の画像を合体させることで腫瘍などの患部までをナビゲーションするシステムが搭載されています。CT機能、手術室、ナビゲーションシステムの3つの機能が備わった手術室は、東日本で初めての導入となります。

また、搭載されている血管撮影装置は、CTに匹敵する大視野で高画質な3D画像を撮影することができるほか、心臓の拍動などを動画として観ることができる4D画像化にも対応しています。それにより治療の安全性や効率性が向上されます。また、被ばく量も軽減されるため、患者さんの負担を軽減することができます。新しいハイブリッド手術室は機能が拡張したことで、循環器系や形成外科の他、広い範囲で活用されています。

遺伝子診療センターが本格的に稼働

当院は総合周産期母子医療センター、がんゲノム医療連携病院、東京都難病診療連携拠点病院の指定を受け、地域の方々に専門的な医療を提供する体制を整えています。遺伝子診療に関しても、出生前の相談から、小児・成人期の遺伝性疾患、がんゲノム医療まで幅広く対応できることが特色です。

昨年11月には遺伝子診療センターが設立され、今年4月に市川弥生子神経内科教授がセンター長に就任し、本格的に稼働しました。新体制の下、臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーが各診療科・臨床検査部と連携して、当院での遺伝子診療を推進していきます。

当院を基地病院として 東京都ドクターヘリの運航開始

当院は、今年3月31日に運航を開始した東京都ドクターヘリの基地病院として、救急医療の拡充に貢献しています。救急専門の医師・看護師がドクターヘリの駐機する立川市内の発進基地に待機し、救急隊との合流地点に出動して、患者さんに治療を行いながら当院や協力病院等の救命救急センターへ搬送します。

現在、平均で1日2件ほどの出動要請に対応しています。致死的な状態で搬送されてから歩いて退院できるまでに回復した例など、病院に到着する前から高度な医療を施したことで救命できた患者さんもいます。また、9月に行われた東京都・品川区合同総合防災訓練では、災害時の医療搬送について検証を行いました。

基地病院として、今後も自治体や消防、医療など関係機関との連携を深めながら、安全かつ効果的な運営の推進に努めていきます。



最新のがん治療 “ウイルス療法” の臨床試験を実施中

福原 浩教授をはじめとする泌尿器科では、今年3月から転移のある前立腺がんに対してウイルス療法を用いた第2相の臨床試験を開始しています。

ウイルス療法は、寄生して増殖するというウイルスの特徴を逆手に取った療法です。東京大学の研究チームが、G47Δ（デルタ）という遺伝子組換え型単純ヘルペスウイルスを開発し、2021年に難治性脳腫瘍の治療法として国に承認され、保険適用となりました。

このG47Δを転移のある前立腺がんに応用し、10年にわたり研究を重ねてきた福原教授は、「前立腺がんの治療法として確立され、さらに他の部位での治療法として広がっていくことに期待し、引き続き治療薬の開発に邁進したい」と語っています。



福原 浩教授

学びの杜
健康で豊かな毎日のために

ケーブルTV J:COM 武蔵野・三鷹で「学びの杜」を放送

杏林大学では、2021年度から本学の特色を活かした市民講座“学びの杜”をケーブルTV J:COM武蔵野・三鷹で放送しています。今年度も6つの講座を順次放送しています。放送後の動画は、大学・病院HPでもご覧いただけます。

【2022年度放送講座】

- ・アイフレイルを知ろう
- ・子どもの食物アレルギー
- ・高齢者の腰と背骨
- ・短歌を楽しもう!
- ・高齢者のための障害予防リハビリテーション
- ・乳がん診療の最前線

あたたかいご支援に感謝

学生支援のための教育研究募金、医療従事者が治療に専念できる環境を整備するための附属病院へのご寄付等に多くの皆様からご支援を賜りました。杏林大学を支えてくださる皆様のご支援とご理解に感謝申し上げます。寄付状況は記載のとおりです。

■ 2022年度寄付状況

4月1日から9月30日までの種類別件数と金額等を報告します。

寄付の種類	累計件数	累計金額
教育研究募金	9件	2,749,000円
医学部附属病院へのご寄付	25件	2,822,250円
奨学寄付金	71件	51,138,800円
杏林大学リサイクル募金	5件	40,181円

● お問い合わせ先

杏林学園募金事務局(経理課内)

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2
TEL:0120-50-1665(フリーダイヤル)
E-mail:bokin@ks.kyorin-u.ac.jp

杏林学園募金サイト



皆様からのご寄付は、それぞれの用途・目的に沿って、有効に活用させていただいております。



あんず Anzu 2022 | 秋 |

広報誌 あんず Vol.8

2022年10月28日発行

発行 学校法人 杏林学園

企画・編集 広報室

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

TEL.0422-44-0611